

千住真理子

スウィート♡バレンタイン

トーク&
リサイタル
Talk&Recital

© Kiyotaka Saito(SCOPE)

Program

ヘンデル:
涙の流れるままに

モーツァルト:
歌劇「フィガロの結婚」より
“恋とはどんなものかしら”

エルガー:
愛のあいさつ

クライスラー:
愛の喜び

クライスラー:
愛の悲しみ

ショパン:
別れの曲

チャイコフスキー:
感傷的なワルツ

ロシア民謡:
黒い瞳

Sweet Valentine

Mariko Senju

メンデルスゾーン:
歌の翼に

越谷達之助/渡辺俊幸:
初恋

滝廉太郎/千住 明:
荒城の月

ドビュッシー:
月の光

クライスラー:
真夜中の鐘
～ホイベルガー「オペラ舞踏会」より

ボンセ:
エストレリータ ～小さき星に～

千住 明:
ラストナイト

ブラームス:
ハンガリー舞曲 第1番



ヴァイオリニスト 千住真理子
ピアノ 山洞智

© Kiyotaka Saito(SCOPE)

2018

2/10 (土) 2:00pm (1:00pm開場) ザ・シンフォニーホール

【料金】全席指定 4,000円(消費税込)

主催/朝日友の会、朝日放送 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

9/24(日) 発売

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30(土日祝定休)]

■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 [10:00~18:00(火曜定休)]

■チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:339-950]

■ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード:56893]

■CNプレイガイド 0570-08-9990

■e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

■ABCぴあ(webで予約・購入)

ABCぴあ 検索

携帯サイトは
こちら▶▶▶



<http://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる!
クレジット決済も可能!! メルマガで優先予約をご案内!!
1度登録すると次回予約が簡単!!

■お問い合わせ

ABCチケットインフォメーション(朝日放送内) 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

ABCクラシックガイドのホームページ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

※未就学児童のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ご予約

千住真理子 スウィート♡バレンタイン

Talk&Recital
トーク&
リサイタル

ヴァイオリンの音色に想いを馳せて

2月になると、千住真理子さんのバレンタインの季節が巡ってきます。全国各地を飛び回り、最前線を走り続ける千住さんが、毎年欠かさず開催している大切なコンサート。300年の眠りから目覚めた幻の名器ストラディヴァリウスの“デュランティ”を携えて「愛」にまつわる世界中の小品をヴァリエティ豊かにお届けします。

以前、小品の魅力を「3分ぐらいの曲の中に深いドラマがあって、まるで30分を演奏するかのように表現して行くのが醍醐味。」と語った千住さん。今回、モーツァルトやクライスラーをはじめ、兄の千住明さんが亡き祖父に捧げた「ラストナイト」等、全16曲のプログラムにはどんなドラマが待ち受けているのでしょうか？

そして、もう一つの楽しみは、演奏の合間に千住さんがお話しされるエピソード。曲に込められた想いは、楽しくて、時に切なくて……。朗らかでまっすぐな千住さんの言葉が心にしみみます。ピアノに、何度も共演を重ねた山洞智さんを迎え、息のあった演奏にご期待ください。

千住 真理子 [ヴァイオリン] Mariko Senju, Violin



2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。慶應義塾大学卒業後、指揮者故ジュゼッペ・シノーポリに認められ、87年ロンドン、88年ローマデビュー。国内外での活躍はもちろん、文化大使派遣演奏家としてブラジル、チリ、ウルグアイ等で演奏会を行う。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。

1993年文化庁「芸術作品賞」、1994年度村松賞、1995年モービル音楽賞奨励賞各賞受賞。

1999年2月、ニューヨーク・カーネギーホールのウェイル・リサイタルホールにて、ソロ・リサイタルを開き、大成功を収める。

2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。

2015年はデビュー40周年を迎え、1月にイザイ無伴奏ソナタ全曲「心の叫び」、2月にはバッハ無伴奏ソナタ&バルティータ全曲「平和

への祈り」をリリース、両作品ともレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2016年は、300歳の愛器デュランティと共に奏でるアルバム「MARIKO plays MOZART」をリリース。またブラハ交響楽団、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団と各地で共演。2017年はブラームス没後120年記念「ドラマティック・ブラームス」をリリース、また全国でスーク室内オーケストラとツアーを行い、好評を博した。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫)「歌って、ヴァイオリンの詩2」「ヴァイオリニストは音になる」(いずれも時事通信社)「ヴァイオリニスト 20の哲学」(ヤマハミュージックメディア)母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)「命の往復書簡2011~2013」(文藝春秋社)「千住家、母娘の往復書簡」(文藝春秋社文春文庫)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ <http://www.marikosenju.com/>

山洞 智 [ピアノ] Satoshi Sando, Piano

4歳からピアノを14歳から作曲を学ぶ。1993年東京芸術大学大学院修了。90年大学より安宅賞受賞。91年第60回日本音楽コンクール作曲部門首位、あわせて安田賞受賞。その後フランス政府給費留学生として渡仏。パリ国立高等音楽院にてさらに研鑽を積む。

作曲と演奏の双方にわたり活動を展開、また両者をつなぐ新曲の初演も多数。ピアニストとしては独奏以外でも、とくに室内楽分野で内外のトップアーティストの共演者として絶大な信頼を寄せられている。

97年8月に帰国。98年8月には国際交流基金派遣で南米ブラジル、アルゼンチンの各地まで演奏旅行にでかける。

現在、東京音楽大学准教授、東京芸術大学非常勤講師。

